

「神大スポーツ」では、体育会・文化系問わず、課外活動で活躍する学生や指導者たちの最新記事を掲載！
学内のみならず、広く国内外で活躍する神大生の情報をお届けします。

JINDAI SPORTS

秋季リーグでリベンジ！ 目指すは日本一

4月8日（土）5月28日（日）開催された関東学生野球大会（以下「関東大会」）で、箱根駅伝で活躍した神大野球部は、結果としてリベンジを果たすことが出来た。次は、夏の甲子園大会を目指してリベンジを果たすべく、選手たちは練習に励んでいる。今回は、選手たちの練習の様子や、今後の目標について取材した。

箱根駅伝で活躍した神大野球部は、結果としてリベンジを果たすことが出来た。次は、夏の甲子園大会を目指してリベンジを果たすべく、選手たちは練習に励んでいる。今回は、選手たちの練習の様子や、今後の目標について取材した。



甲斐主将 宗原 大主将（経済・4年）
出身校：川之江（愛媛）



硬式野球部
HPはこちら

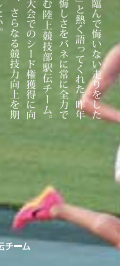
箱根駅伝 出場に向けて!!

第100回東京箱根間往復大学駅伝競走（以下「箱根駅伝」）の本大会出場に向けて、箱根駅伝に挑む陸上競技部は、練習に励んでいる。今回は、選手たちの練習の様子や、今後の目標について取材した。

第100回東京箱根間往復大学駅伝競走（以下「箱根駅伝」）の本大会出場に向けて、箱根駅伝に挑む陸上競技部は、練習に励んでいる。今回は、選手たちの練習の様子や、今後の目標について取材した。



小林 寛典 主将（人科・4年）
出身校：四日市工業（三重）

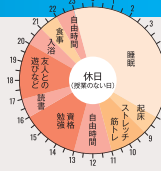
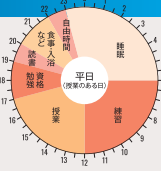


陸上競技部 駅伝チーム
HPはこちら

硬式野球部

柴垣主将のONとOFF

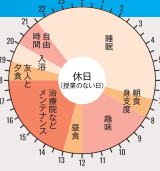
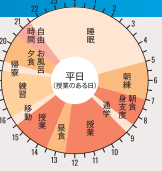
「平日は練習済みの日々」と話す柴垣主将。部活がない休日にも午前中はストレッチや筋トレを行い、自己管理を徹底している。読書が趣味だそう。毎日1時間は読書に費やしているそう。来春からは不動産業界への就職も決まり、宅取得のため資格勉強に励むなど文武両道の姿があった。



陸上競技部 駅伝チーム

小林主将のONとOFF

平日は早朝と夕方にハードな練習を行う小林主将。休日は「身体のメンテナンスを一番重視している」と話し、治療院などで調整を受けた後は家で過ごす時間が多く、怪我の予防と疲労回復を最優先に考えているようだ。伝統ある陸上競技部駅伝チームの主将として、相応しい意識が垣間見られた。



ONとOFFで何してる？

各団体に所属する神大生の「平日」と「休日」にクローズアップ!

2023 サマーコンサート 開催

6月17日（土）に横浜みなとみらいホールで開催された「2023年サマーコンサート」の模様をレポートする。吹奏楽部は、今年も素晴らしい演奏を披露し、観客の心を魅了した。今回は、吹奏楽部の練習の様子や、今後の目標について取材した。

吹奏楽部は、今年も素晴らしい演奏を披露し、観客の心を魅了した。今回は、吹奏楽部の練習の様子や、今後の目標について取材した。



指揮 黒川 勇磨（自治政・3年）
出身校：三浦公立（神奈川）



吹奏楽部
HPはこちら

今年の神大フェスタは 装飾にも注目!

神奈川大学祭典「神大フェスタ」は、学生主体で、地域貢献を理念に掲げ、今年25回目を迎える。運営は「神大フェスタ実行委員会」が主体となり、「総務部」「広報部」「企画部」の3つの部で運営されている。今年も、学内各団体の協力を得て、盛り上がる「神大フェスタ」を開催する。今回は、装飾の準備の様子や、今後の目標について取材した。

神奈川大学祭典「神大フェスタ」は、学生主体で、地域貢献を理念に掲げ、今年25回目を迎える。運営は「神大フェスタ実行委員会」が主体となり、「総務部」「広報部」「企画部」の3つの部で運営されている。今年も、学内各団体の協力を得て、盛り上がる「神大フェスタ」を開催する。今回は、装飾の準備の様子や、今後の目標について取材した。



太田 装飾部長 阿部 勇磨（自治政・3年）
出身校：三浦公立（神奈川）

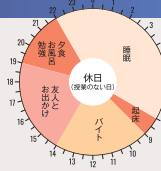
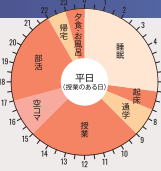


神大フェスタ
HPはこちら

吹奏楽部

堀部部長のONとOFF

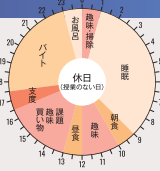
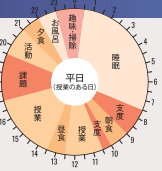
休日は、友人と「映画鑑賞」や「カラオケ」にハマっているという堀部部長。色んなところに出掛けて、アクティブに過ごしているという。また、大学から始めたスーパーバートのバイトでは、従業員の方や仲良くなったお客様と談笑しているように、みんなから可愛がられているようだ。



神大フェスタ実行委員会

太田装飾部長のONとOFF

太田装飾部長は「テレビドラマ」が好きで、録画した番組を見るのが日々の楽しみで、リフレッシュにもなっているようだ。休日はバイクの先駆いて出てくる「温玉のせせらぎ鳥井」がお気に入りです。エネルギーチャージにもなっているようだ。



神大生リポート特集!!

神奈川大学の「横浜キャンパス」と「みなとみらいキャンパス」の学生記者がスポーツや文化を色々な切り口で取材!
今回は「みなとみらいキャンパス」の三浦 知樹さん(国際経営・3年)、石川 悠さん(日本文化・2年)、
桑島 暖さん(日本文化・2年)が取材しました。

各団体に聞いた!

暑い夏を乗り切る熱中症対策!

フラメンコ部(ロスガトス)の熱中症対策!

スペイン舞踊中心のフラメンコを楽しむことを
モットーにしているロスガトスの方にお聞きしました!

- Q 1. 部内で気を付けている点はありますか?
A ごまめな水分補給を心がけています。
- Q 2. 部内での何か特別な対策はありますか?
A 体調に合わせて無理なく練習をするようにしています。
- Q 3. 運動部でなくてもできる簡単な対策はありますか?
A やっぱり水分、塩分補給をごまめに行うことです。
- Q 4. よくする対策は何かありますか?
A 部活中は踊っているとすぐに熱くなってしまいますので、スタジオのエアコンは温度設定をその部屋変えています。



フラメンコ部(ロスガトス)

主な活動は、地域のお祭りから学生連盟主催の発表会などに参加しています。夏には合宿も行っており、現在は、8月7日(月)に岡山(千葉県)で開催される「花火とフラメンコ」に向けて練習中です。

活動場所: みなとみらいキャンパス 5Fスタジオ
活動日: 月、金曜日 17:00~21:00

フラメンコ部(ロスガトス)HPはこちら

スタッフは、7月号ということでテーマを「部活ごとの熱中症対策」として横浜キャンパスとみなとみらいキャンパスの2つの部活動にインタビューしてきました。今号では、「フラメンコ部(ロスガトス)」と「体操部」の熱中症対策について紹介します!

体操部の熱中症対策!

初心者からでも安心して技術が学べる
体操部 部長の嶋海さんにお聞きしました!

- Q 1. 部内でしている熱中症対策はありますか?
A 各自で水分補給をしています。一斉に水分補給をする時間を作ってしまうと途中で水分補給したい人がいても取ることが難しくなってしまうので、好きな時にできるよう心掛けています。他にも、塩分タブレットなどを部で塩分を取ってもらうということもしています。
- Q 2. 運動部でなくてもできる熱中症対策は?
A メジャーですが、濡れタオルがおおすすめです。首や脇などを冷やすとスリッパするので、皆さんにもやっていただきたいです。タオルじゃなくても、ハンカチなどを濡らして使ってもらっても大丈夫です。
- Q 3. オススメグッズはありますか?
A 先ほど言った塩分チャージもそうですが、経口補水液などもおすすめです。体操部でも部室に常備しています。



体操部

主な活動は、マット運動や跳馬、高鉄棒などを行っている。日々いろんな技に挑戦しています。楽しむことを大切に活動し、現在は秋の大会に向けて練習中です。

活動場所: 横浜キャンパス 13号館
活動日: 月曜日 19:00~21:00 火、木曜日 17:00~21:00

体操部HPはこちら

熱中症に注意しよう

協力: 神奈川大学保健管理センター

1 ごまめに休憩を!

外でスポーツをする際は直射日光を避け7日陰で、冷たいタオルなどで体を冷やす。



3 水分補給!

のどの渇きを感じていなくても、水分補給は大切。スポーツ飲料水などの利用のほか、麦茶がおススメ。



2 日々の健康管理をしっかりと!

食事や睡眠を十分にとり、体調に不安があるときは、運動量を調節し無理をしない。



4 体調が悪そうな人を見かけたとき

自力で水が飲めない、意識がない場合は、ためらわず救急車を呼びましょう!



「暑い夏を乗り切る熱中症対策!」取材協力 みなとみらいキャンパス記者

三浦さん、石川さん、桑島さんは神大スタイル編集スタッフとして活動しており、初めて神大スポーツにご協力いただいた。企画の立案から、取材対象者へのアポイントメント、記事制作まで、初めて経験するものも多かったようだが大変だったとのこと。特に、取材時に話を深堀することが難しかったようで、次回の課題にしたいそう。神大スポーツや神大スタイルの活動を通してそれぞれの目標を聞いて、三浦さんは「横浜キャンパスの方とも交流しながらコラボしたい」、石川さんは「コロナ禍の制限も緩和されたので、積極的に外に出た活

動をしたい」、桑島さんは「活動を通して記録に残るものを残していきたい」と話してくれた。今後の活動も非常に楽しみだ。



右から
三浦 知樹さん(国際経営・2年) 出身校: 札幌新川(北洋道)
石川 悠さん(日本文化・2年) 出身校: 東洋大学
桑島 暖さん(日本文化・2年) 出身校: 聖が丘(神奈川県)

【神大スポーツ】掲載記事および取材学生の募集

神大スポーツで記事を取り上げ欲しい、私たちの課外活動を紹介したいなど個人・団体問わず募集しております。また神大スポーツでは、企画立案・取材・記事制作に興味のある取材学生を募集しております。ご希望の方は、右のQRコードからご応募ください。

※ご応募いただいた方から、ご協力いただきたい方はこちらから連絡を差し上げます。



指導者インタビュー

男子サッカー部 監督 大森 西三郎



今回の指導者インタビューは、男子サッカー部の大森西三郎監督に話を聞いた。

大森監督は、兄の影響を受けてサッカーを始める。高校時代に選手として中央大学に進学し、1年時に活躍。大学時代は選手が出なかったら監督を務め、大森監督は自分が引退した後も監督として活躍。現在は監督としてサッカーの指導に専念している。大森監督は、選手を育てることに喜びを感じており、選手が活躍するのを見ては非常に嬉しい。

大森監督は、選手を育てることに喜びを感じており、選手が活躍するのを見ては非常に嬉しい。

現任は「これぞ熱中症」である。スポーツだけでなく、社会人として働く際にも暑い日や暑い場所での活動は、熱中症のリスクを高める。熱中症の予防には、水分補給、塩分補給、涼しい場所での活動、適切な服装の着用などが効果的。また、体調が悪いときは無理をしないことが大切。熱中症は、適切な対策を講ずることで予防できる。熱中症の症状としては、めまい、吐き気、頭痛、意識障害などが挙げられる。熱中症の予防には、水分補給、塩分補給、涼しい場所での活動、適切な服装の着用などが効果的。また、体調が悪いときは無理をしないことが大切。熱中症は、適切な対策を講ずることで予防できる。熱中症の症状としては、めまい、吐き気、頭痛、意識障害などが挙げられる。

おもてなしの1服をどうぞ

い草の香りが立ち込める部屋で、日本の伝統文化とおもてなしの心を学ぶため、日々稽古に励む茶道研究部。

杉山あおい副部長(建築・2年)は「茶道研究部は年を通してお茶会の場があり、季節の行事毎に合わせた活動をしている」と話してくれた。6月18日には三浜園で清茶茶会を開催し、風情のある庭園の中にお客様をお招きし、心豊かなひとときとなったそうだ。他にも、神奈川大学の日本部・日本文化プログラムの一環として外国人留学生に、茶道の知識や作法を伝える体験会を実施(留学生は日本のお抹茶に興味を持った)活動を通して交流の輪が広がった。茶道を通して交流の輪が広がる。

茶道研究部HPはこちら



われらの勝負飯

茶道研究部の勝負飯は「和菓子」を挙げてくれた杉山副部長。見た目の美しさや自然の恵みから感じた素材を感じながら味わっているという。お気に入りの和菓子屋さんもあるそうで、作り手の方と会話を楽しみながら、お茶会で提供する和菓子を選んでいるそうだ。

3部昇格に向けて!!

関東大学ラグビーリーグ4部に所属するラグビー部は今年3部昇格を目標にチームワークを取り組んでいる。

チームを率いる平野真将(建築・4年)は「20人程度のチームに比べて人数が多いが、少数指導を武器に頑固な練習の積み重ねで力強く進んでいく。練習メニューの役割も明確で、練習メニューが試合前の準備もスムーズに行っている。チームは学生主体で活動しているから、個々の選手たちが自主性を発揮して練習に臨み、自らの強みを見出してプレーで表現しているのだ。」



われらの勝負飯

平野 真将 (国際経営・4年)
出身校: 関東学院六浦(神奈川県)

ラグビー部

最後に優勝するチームになるのがブレイ以外の活動も力を入れている。平野選手は「今年3部の昇格を取り組むとして、シャドーやオールドに合わせた練習メニューの発信力を高めるために、ホームチームのリニューアルをして、広域にも声を届けている」という。広域にも声を届けているという。グラウンドの方々のサポートがあり、グラウンドに立てると感動したという思いを込めてラグビー部の抱負を伝えている。これらから期待したい。

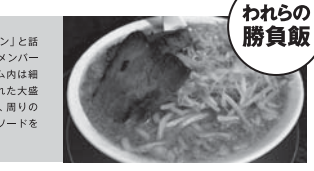
ラグビー部の勝負飯は「中華街での食べ放題」と話す平野選手。大会前の決起会として横浜中華街に訪れ「食べ放題を注文」することが恒例になっている。独自のルールもあり、店内の「全てのメニュー」をみんなで完食することだそうだ。ラグビー部にとっては食事もトレーニングの一環なのだろう。

教えて勝負飯!

春季関東インカレベスト8入り!!

4月28日(金)～5月8日(日)に開催されたO23年度関東学生ヨット春季選手権大会(春季関東インカレ)にて団体戦でベスト8の成績を収めたヨット部。

石川立飛主将(人科・4年)は「目標であった8位以内に入れたことで、10月に開催される秋季関東インカレのシード権を獲得できた」と話してくれた。試合に向けて重圧の増加してきた選手として「マーカー」を挙げた。コース上に設置されたマーカーを巧みに回りながらゴールを目指す。ヨット部は、競艇能力や戦略が求められるヨットレースの醍醐味であり、練習成果を存分に発揮できた喜びを語ってくれた。



われらの勝負飯

石川立飛 主将(人科・4年)
出身校: 横浜製鉄(神奈川県)

ヨット部

ヨット部の勝負飯は「二部系ラーメン」と話す石川主将。学年の隔てなく仲の良いメンバーで練習中に訪れるそう。チーム内は自身の選手が多いが、迫力満点に盛りださるラーメンをペロリと平らげる姿に、周りの方からも驚かれることもあるとエピソードを挙げてくれた。

最後に「今年新たに1年生5名が入部し、フレッシュな活動が広がっている。今年がチームを活動させている。今年がチームを活動させている。今年がチームを活動させている。」

公式戦出場に向けて!!

熱気あふれるボクシング部は、選手たちの力強い拳の音が響くボクシング部。7月に開催される神奈川県ボクシングオープン大会(飯沼杯)に向け、出場に一心不乱に努力を奮っている。

西川基生(経済・3年)は「東洋形式のスパリングを中心に練習に取り組んでいる。常に試合に臨めるようデモンストレーションを交えるため、日々の練習に励んでいる」と話している。



われらの勝負飯

西川 基生 (経済・3年)
出身校: 筑波学院(茨城)

ボクシング部

最後にボクシングは強弱を精神力を鍛えるスパリング、ロードワークや過酷な練習に耐え抜くことで、リングの上で相手に打ち向かい、リングが沸く。結果を残すためにも日々の自分打ちを徹したいと力強く話してくれた。ボクシングへの情熱が溢れる西川主将が率いるボクシング部。鍛え抜かれた選手たちが、悲願であるリーグ戦での勝利を勝ち取ることを期待したい。

ボクシング部の勝負飯は「さきま十郎」のタンパク質豊富な食事と話す西川主将。試合前は過酷な減量の中で食事を摂れる瞬間は至極の時間だという。選手中にファーストフードのお店が見える時も、食べたい気持ちを我慢して「ボクサー」としてスタイックに通じているそう。

縁の下の力持ち

マネージャー取材日記

今回のマネージャー取材日記は、戦略的なプレーと迫力あるタックルで、観客を熱狂させるアメリカンフットボール部だ。

マネージャーの佐々木陽菜さん(現代ビジネス・4年)は、中学・高校で吹奏楽部に打ち込んでいたが、大学生活では新たなことに挑戦しようという決意を抱いていた。そんな中出会ったのがアメリカンフットボール部だったそう。同時に入部を決めた理由は、「オン・オフのメリハリがしっかりとあって、チームの雰囲気も良く、馴染みやすそうな印象を受けたのがきっかけだったという。」

マネージャーの主な仕事は、水の補充、タイムキーパー、練習・試合中のビデオ撮影、監督やコーチとのやりとり、合宿の計画を

立てるなど幅広い活動を行う。また、佐々木さんはスタッフ募集の新たな試みとして、学業との両立がしやすい週3日の活動や在宅スタッフを起用したところ。例年より多くのスタッフが入部し、リーグ側でもチームに貢献しているとのこと。今年の目標について聞いてみると選手の手を最大限に引き出すためのサポートを行い、1部リーグへの返り咲きを希望したいと話してくれた。

最後にマネージャーは、チームを支える重要な存在。少しでも興味があったらぜひ入部してほしいと話してくれた。マネージャーの信頼とサポートによって、選手たちが力を発揮し、1部昇格を成し遂げてくれる姿に期待したい。



佐々木 陽菜さん (現代ビジネス・4年) 出身校: 飯能(埼玉県)

アメリカンフットボール部HPはこちら

課外活動団体へのご支援をお考えの皆様へ

神大スポーツ・文化振興賛助金募金



左のQRコードからアクセス

2023年10月22日、約3年ぶりとなる「集中応援」企画が実現されました。この3年、新型コロナウイルス感染症対策のため自主規制が厳しく、卒業生が横濱大学に集まる機会が減少し、卒業生が横濱大学に集まる機会が減少し、卒業生が横濱大学に集まる機会が減少し...

外活動団体の「集中応援」企画が実現されました。この3年、新型コロナウイルス感染症対策のため自主規制が厳しく、卒業生が横濱大学に集まる機会が減少し、卒業生が横濱大学に集まる機会が減少し...

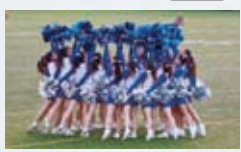


外活動団体の「集中応援」企画が実現されました。この3年、新型コロナウイルス感染症対策のため自主規制が厳しく、卒業生が横濱大学に集まる機会が減少し、卒業生が横濱大学に集まる機会が減少し...

神大の「集中応援」を体感しよう!

主に重点強化部の試合に駆けつけ、笑顔とハイタッチで選手を応援し、今年度は、コロナ禍の活動制限が緩和され、声援し応援が可能な環境に整えられています。松原風花選手(中国語、3年)は対面での活動が全面的再開されたことで、コミュニケーションが非常に取りやすくなったと喜び、今年度は「一体感」を体感できることを期待しています。

「集中応援」について、松原選手は「集中応援には、明神宮大会、なまもTAMAJI N D A Iに出場する硬式野球部、箱根駅伝に出場する陸上競技部が中心に集まり、一人でも多くの声援を届けてほしい」と話しています。



チアリーディング部HPはこちら



松村 風花 主将(中国語、3年)

チアリーディング部

「集中応援」について、松原選手は「集中応援には、明神宮大会、なまもTAMAJI N D A Iに出場する硬式野球部、箱根駅伝に出場する陸上競技部が中心に集まり、一人でも多くの声援を届けてほしい」と話しています。

「集中応援」について、松原選手は「集中応援には、明神宮大会、なまもTAMAJI N D A Iに出場する硬式野球部、箱根駅伝に出場する陸上競技部が中心に集まり、一人でも多くの声援を届けてほしい」と話しています。



松村 風花 主将(中国語、3年)

管弦楽団

「集中応援」について、松原選手は「集中応援には、明神宮大会、なまもTAMAJI N D A Iに出場する硬式野球部、箱根駅伝に出場する陸上競技部が中心に集まり、一人でも多くの声援を届けてほしい」と話しています。

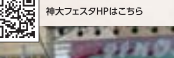
箱根駅伝予選会を現地で応援!!



今年度の箱根駅伝は記念の節目となる第100回大会。本大会出場のため優勝を目指す陸上競技部駅伝チームを応援に行こう!

神大フェスタ×みなとみらい祭

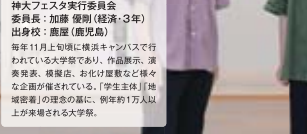
神楽川大学では、それぞれのキャンパスで大学祭を開催しており、横浜キャンパスで25回目を迎える「神大フェスタ」とみなとみらいキャンパスで3回目を迎える「みなとみらい祭」の2つがある。神大フェスタは歴史も長く、住宅地の中にキャンパスがあることから地元の方々に親しまれている。また、海外活動として丸亀城のボランティア活動も行っている。一方、みなとみらい祭は、みなとみらいの中心という地利を活かした近隣企業との連携や国際系の学部が集中していることからグローバルな大学祭となっている。今年度は、行動制限もなく、両大祭は例年以上の企画・展示を準備しているとのこと。そんな大学祭の魅力に迫るべく、神大フェスタ実行委員会の加藤俊明委員長(現代ビジネス、3年)とみなとみらい祭実行委員会の三宅涼太委員長(国際経営、3年)の両名にそれぞれインタビューをした。



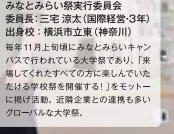
神大フェスタHPはこちら



神大フェスタ 2023.11.4(土)・5(日)



委員長に聞いてみた! 一問一答!



みなとみらい祭 2023.10.28(土)・29(日)



みなとみらい祭HPはこちら



みなとみらい祭 2023.10.28(土)・29(日)

3年ぶりの対面開催もあり、経験者が少なく手探りでの運営があった。ただ、長い歴史に恥の無いような開催は出来た。	Q. 昨年のイベントを振り返ってみて	みなとみらい祭として初めての対面開催もあり、想定していた問題や関係者への調整が大変だった。ただ、歴史を作れる良い機会となった。
例年よりも多い76名の委員を迎えることができた。チャレンジ精神の多い新入生が多く、更に活気ある委員会になっている。	Q. 新入委員について	120名の委員を迎えることができ、更に大所帯になった。全員が同じモチベーションをもって活動してもらったため、積極的に交流を行っている。
雰囲気はあく、考えて動く委員が多い。昨年度は無事に開催することが目標だったが、今年度はより良いものにするために、みんなのモチベーションが高い。	Q. 委員会全体の雰囲気	自発的に動く委員が多い。自分たちが楽しいと思わないと、来場される方も楽しめないという気持ちで活動している。
委員のみんなが「やりたい」と思っていることを優先できるように心がけている。伝統も大事だが、とらわれすぎずに来場者を楽しめるようなイベントにした。	Q. 委員長として大事にしていること	委員に物事を伝える為にも、一人一理、理解と努力をしないとけない。また大学や横浜市との打ち合わせも多いので、責任をもって活動している。
[Awesome! ~コロナゴカセ~]「アメリカンポップを賞賛した口で、コロナ禍で沈んだ気持ちを動かすために、非日常でわくわくしてもらえんイベントにしたいと考えている。特に神大生に来てもらい、大学の楽しさを知ってもらいたい。	Q. 今年度のテーマは?	[An Core! (アンコール) ~夢のもう一歩~]「もう一度」の[Encore(アンコール)、「海の中の」の[Anchor(錨)、「みなとみらいの中心」の[Core(核)]を掛け合わせたテーマとなっている。みなとみらい祭を、普段の大学とは異なる夢の空間にしたい。
例年の企画に加え新規企画も検討している。まだ詳細は決まっていないが、テーマにあった盛り上がる企画にしたい。	Q. 今年度の企画	学内のバスケットボール場にステージを組みたい。構造上設置まで課題は山積みだが必ず実現させたい。
キャンパスが東西に広がっているため、道路を挟んだ西側エリアへの誘導が課題になっている。回避性上げるために、神大橋にエースを制作するのを注目してほしい。	Q. 注目ポイント	高い長いキャンパスであるため、来場者が途中の階で帰ってしまわないように視認性の高い壁紙を貼りたい。また、普段見ることができない4階以上もぜひ見てほしい。
人に伝える力や表現力が求められると思う。また他の団体と比べて人数も多いので、統率する力も学べると思う。	Q. 実行委員になって得られるもの	委員同士の繋がりはもちろんのこと、大学や近隣企業の方など多くの人と繋がり学ぶことができると思う。
「学生主体」「地域密着」の理念を念頭に、昨年度を超える規模の神大フェスタにしたい。様々な企画を考えているので、神大生や地域の方々に沢山お越しいただけると嬉しい。	Q. メッセージ	3年目と歴史は浅いが、年代や性別を限定しない「あなたに楽しんでもらいたい」をみなとみらい祭にしたい。是非見に来てほしい。